



クラスターを早期に探知するための取組のポイント

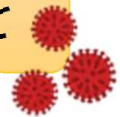


毎日の検温で体調の変化を読み取ろう



- ◆ 検温するのは、体調の変化を読み取る(感染の兆しを早期に探知する)ためです。
- ◆ 起床直後や食後、入浴後は避け、1日2回を目安に検温しましょう。
- ◆ 記録するだけでなく、体温の経時変化をチェックし、平熱より1℃程度高いときは発熱と考え、ためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう。
- ◆ 特に職員の方は、出勤しない日の体温測定をお忘れなく。

発熱がなくても、咽頭痛、咳などの症状があれば抗原検査を



- ◆ これくらいなら大丈夫だろう、もう少し様子を見よう、と思っているうちに感染が広がる可能性があります！！
- ◆ 特に高齢者は、はっきりとした症状が出にくい場合があります。
- ◆ 発熱の有無に限らず、咽頭痛、咳などの症状や気になること(食欲不振など)があれば軽微でもためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう！

先の見えない辛い日々が続きますがあと少しと信じて…
みんなで励まし合いながら
乗り切っていきましょう!!

